

# 国際貿易論 2020 第三回 (5/28)

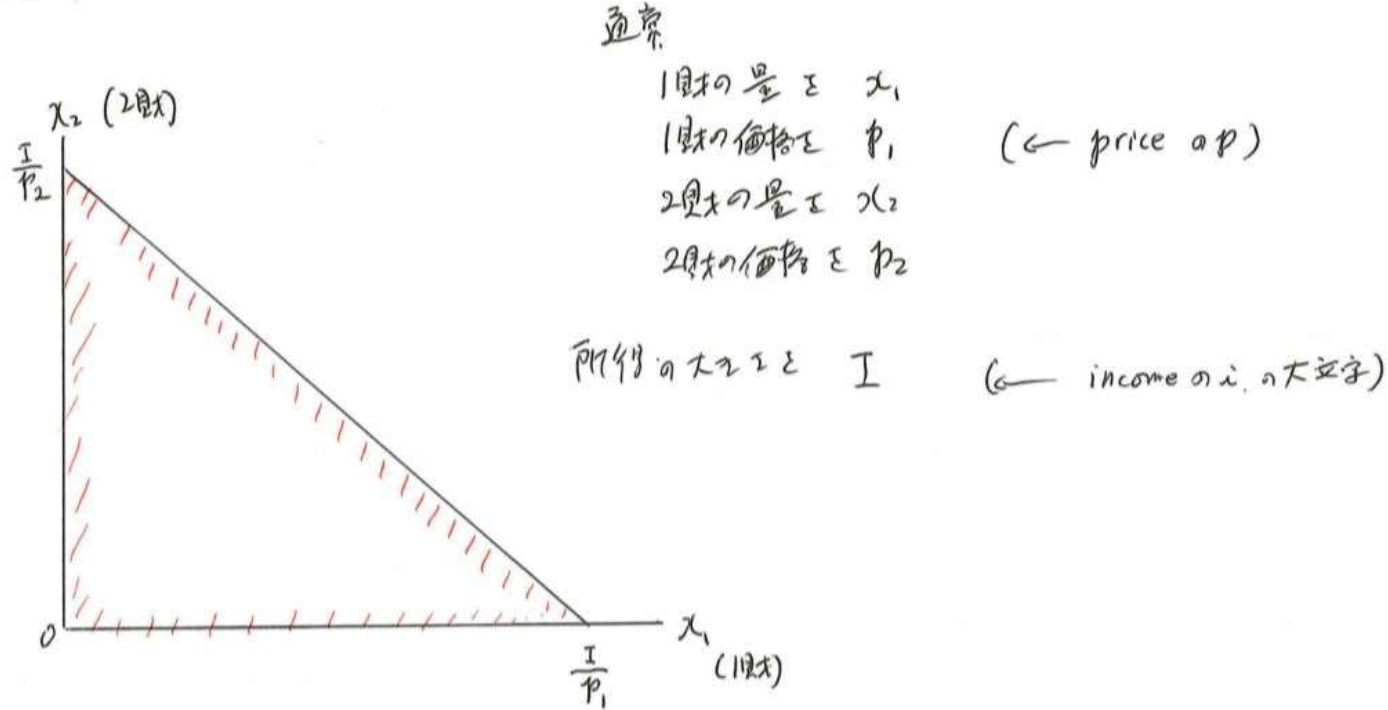
学生さんへ

- ・ ネット接続料金は大丈夫？
- ・ 夢の森公園はカキツバタ満開なう



ここまでは第2回の授業の資料と重複するので省略

補足 (ここから第3回授業の、新しい内容)

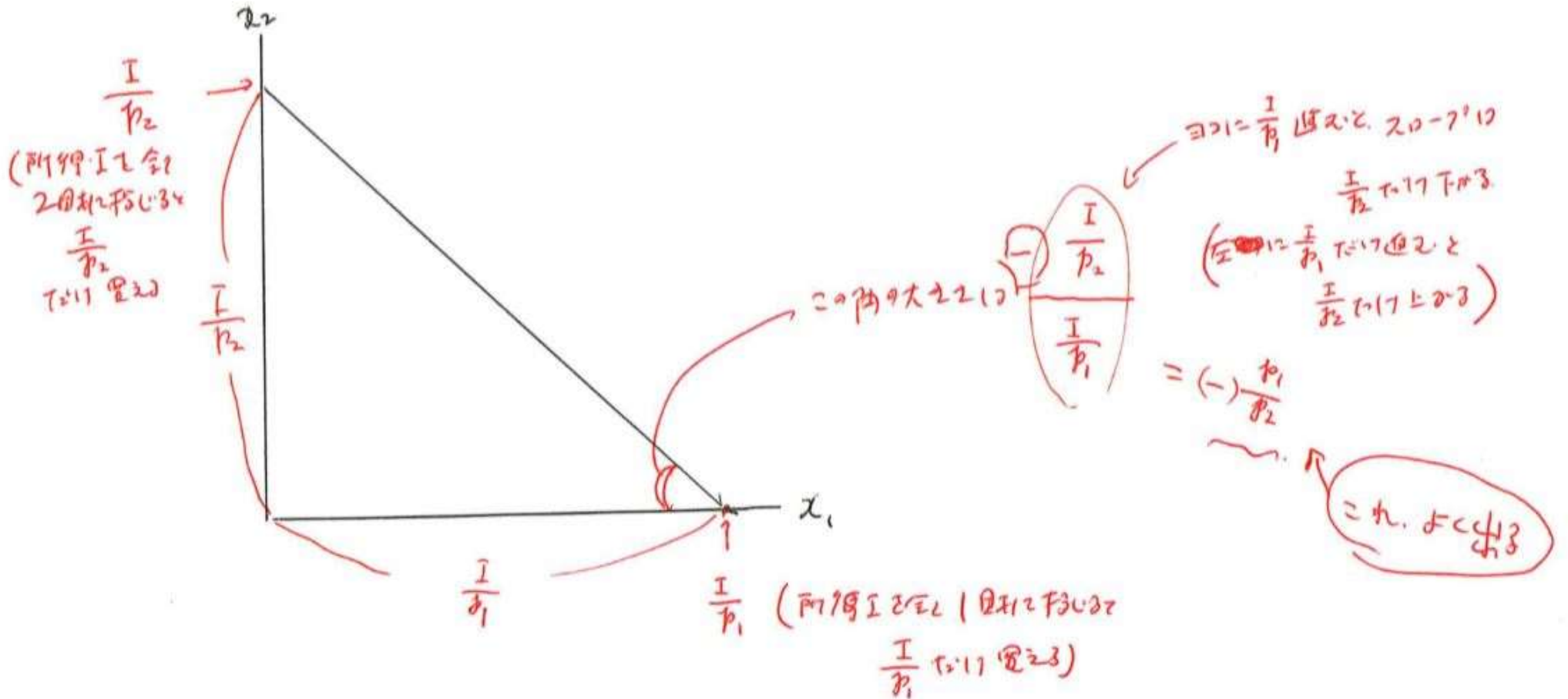


一般的には、予算等式は、

$$p_1 x_1 + p_2 x_2 \leq I$$

をみたす  $x_1, x_2$  の組合せの集合 (  $p_1 x_1 + p_2 x_2 \leq I$  となるような、ありあまる  $x_1, x_2$  の集合 )

国際経済学的重要



オプティマム

ホコブがけ 300円  
 チョコレート 10円  
 チョコレート以外のお菓子 1個 30円

2. お菓子

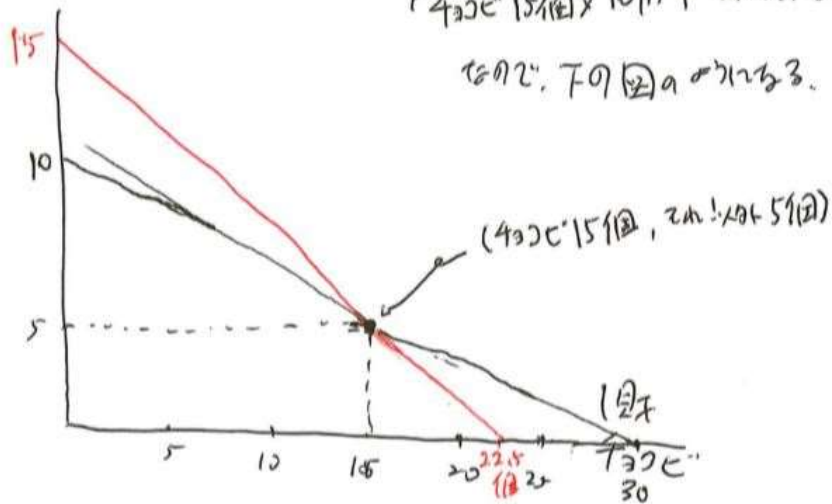
チョコレート 1個 10円  
 チョコレート以外のお菓子 1個 30円  
 「チョコレート 15個とチョコレート以外のお菓子 5個もって」

この組み合わせを考える。

すると、この組み合わせ「チョコレート 15個とチョコレート以外のお菓子 5個」は

$$「チョコレート 15個 \times 10円 + チョコレート以外のお菓子 5個 \times 30円 = 300円」で買える範囲。$$

このとき、下の図のようになります。



→ 二桁の「千の位が1個20円、それ以外の数字が30199円」になる。

千の位 15個  $\times$  20円 + それ以外の30円  $\times$  5個 = 450円 2 置の範囲 97  
上のようになります。

千の位  
→ 各段から変化LTになる。「置の範囲」は、

千の位 15個とそれ以外の数字 5個、という点を必ず通る

↑  
二桁の数字

「(全部を、2. 桁にだけ)」

置の範囲 = 20199円

千の位 15個とそれ以外の数字 5個、という点を必ず通る

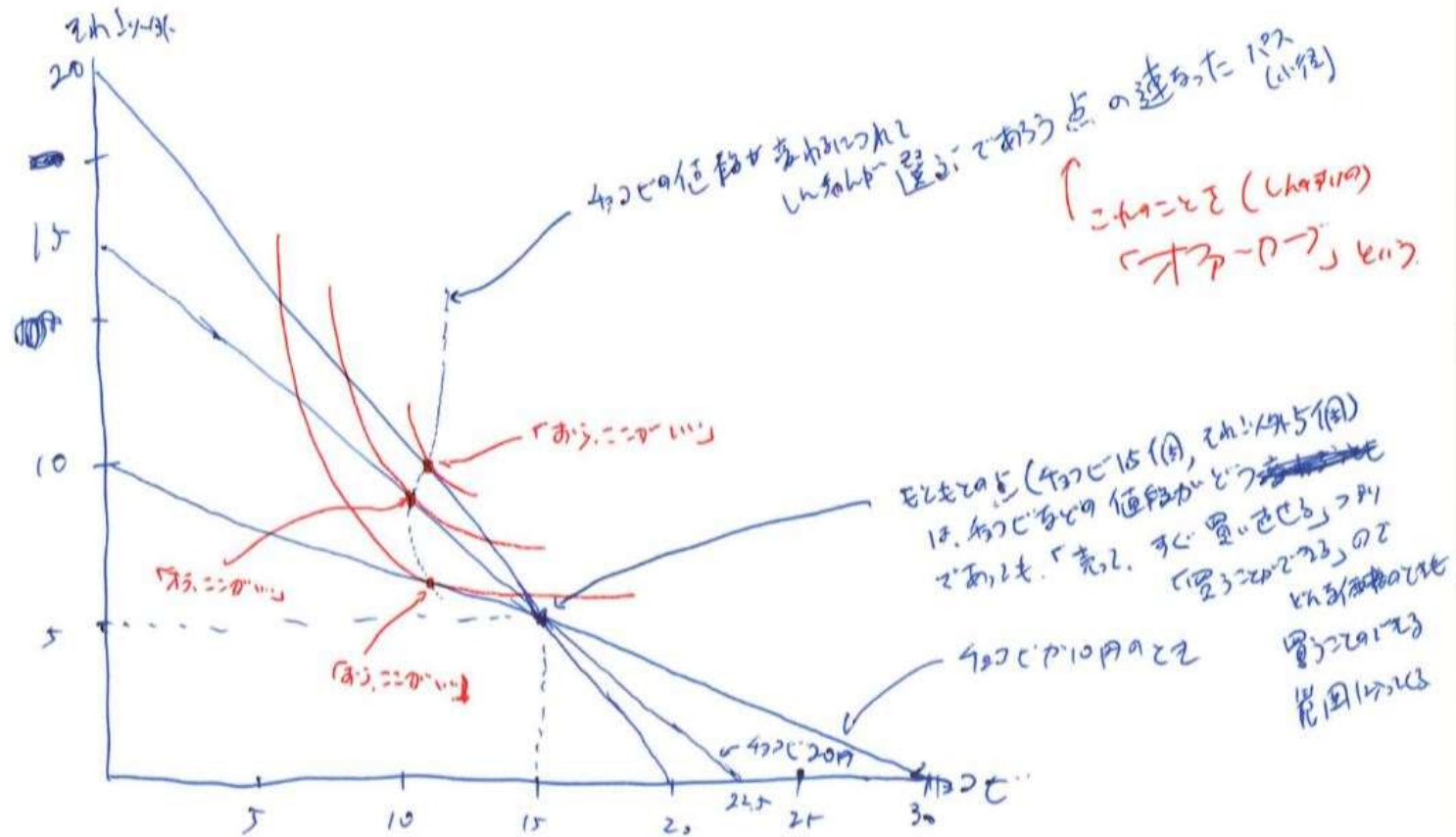
千の位 15個  
千の位 15個  
千の位 15個  
千の位 15個

範囲、に  
入る。

22. (本日の20F)と21日(理展)には起る(か) 420Cの値段が:

毎日の:

「10円 → 20円 → 30円」と、急激に変化した。とする。すると



## 生産者の理論（あるいは「企業の理論」と書く人も）

（当たり前のことのように聴こえるかも知れませんが）企業は、生産のための施設・設備を整え（準備し）そして人をやとって、何かしらの財またはサービスを生産する。

財とは：（姿の無い）嬉しい行為。有り難い行為

サービスとは：姿ある、良いもの（正の効用、うれしい気持ちをあたえてくれるもの）。goods

資本ストック

施設、設備。工場（こうば）



人的資本



資本サービス

資本ストックから得られる能力

労働サービス

人から得られる（知識を伴う）労役

「生産要素」と呼ばれる。

生産活動の例

	資本ストック	資本サービス	労働サービス	生み出されているもの
バス	バス	人を一度に大量に、かつ安全に運べる能力	運転士さんの腕とワザ（技能）を伴った労役	産大生を大量に、20分間で柏崎駅から産大に移動させる、という行為（サービス）
産大の学食	厨房内の施設 テーブル、いす 食器類	食材を調理・加工できる能力 快適に食事させられる能力	料理人（食堂のおばさん）の腕とワザを伴った労役	食材（＝買ってきた）を、美味しく食せる料理の状態に移し替える、という行為（サービス）と、その結果物としての料理

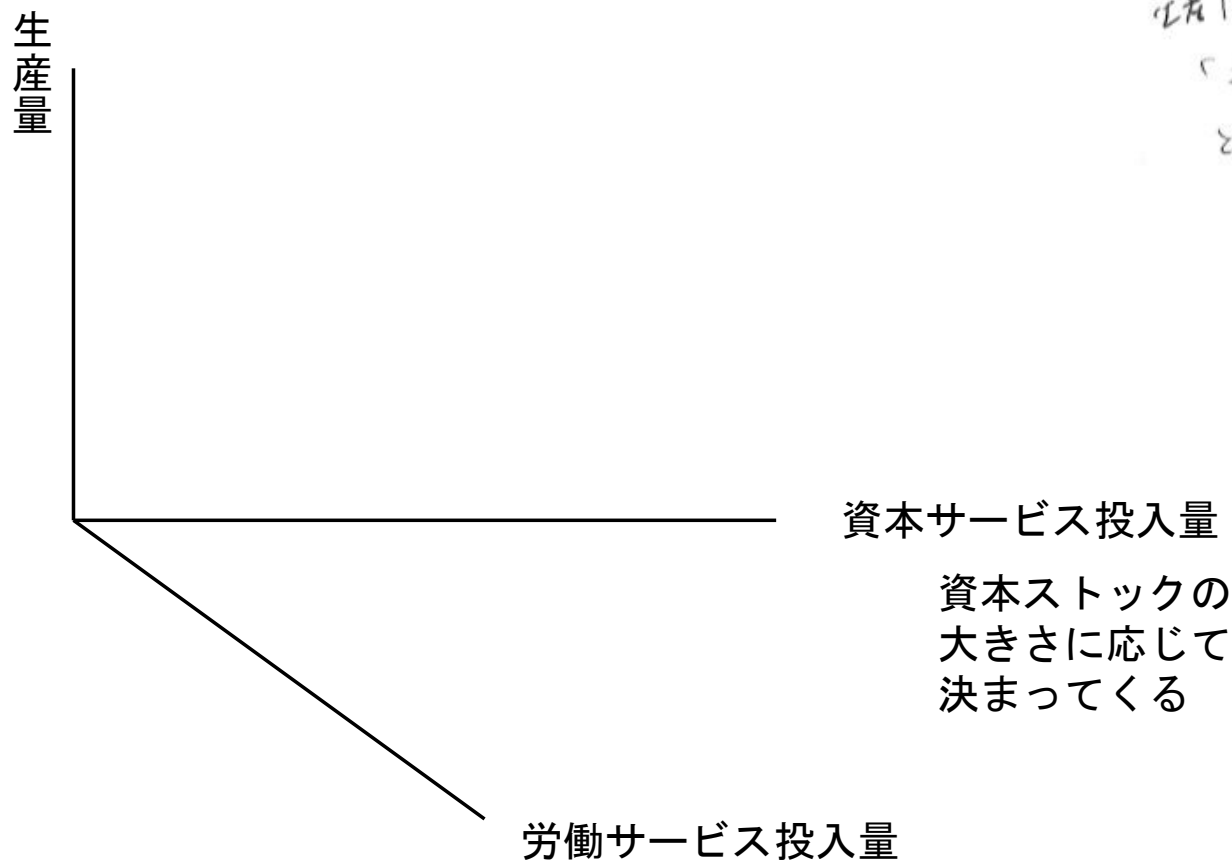


# 生産関数

生産要素（資本サービスと労働サービス）をある量ずつ投入したならば、どれだけ作れるか、という（技術的な）関係

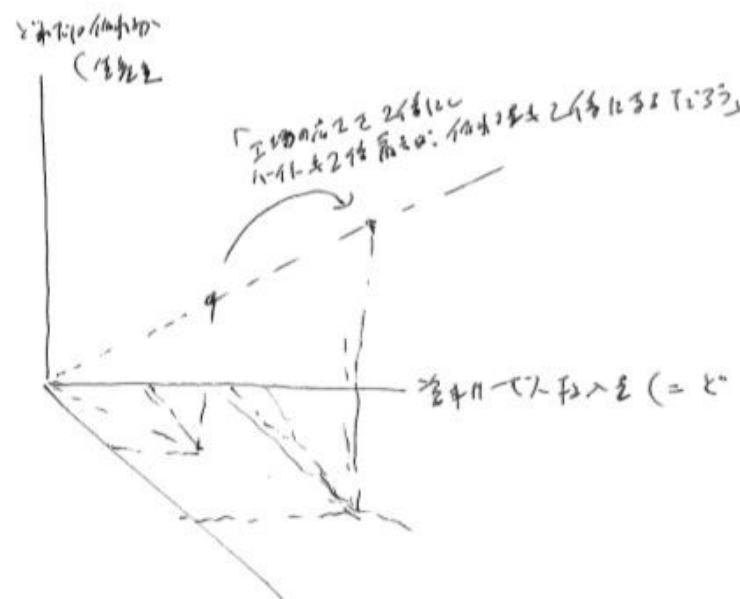
生産関数は、とりあえず図示されることが一般的

（つまり、「図に書ける」ということ）



生産関数

「資本サービスと労働サービスをそれぞれある量ずつ投入すれば、どれだけ生産できるか」という関係

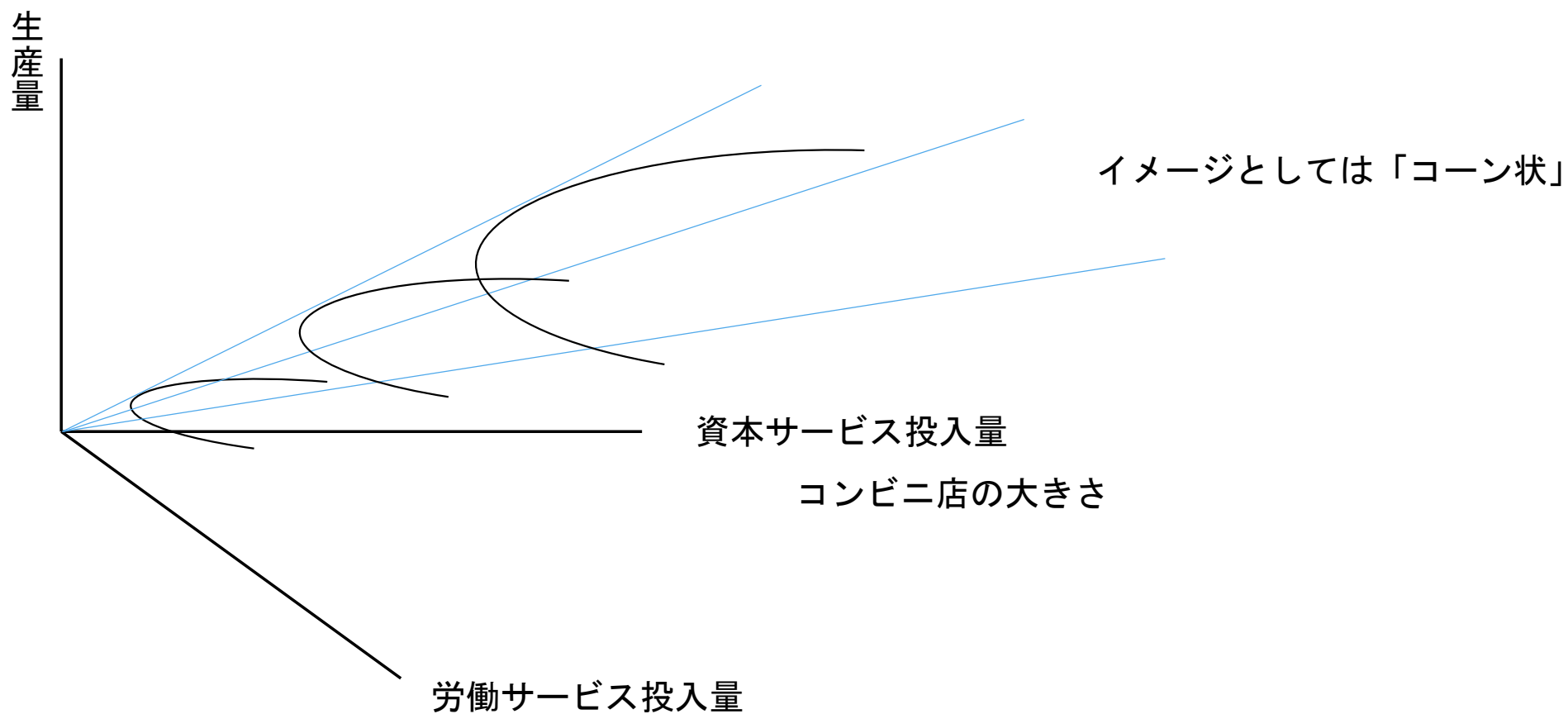


## 生産関数

生産要素（資本サービスと労働サービス）をある量ずつ投入したならば、どれだけ作れるか、という（技術的な）関係

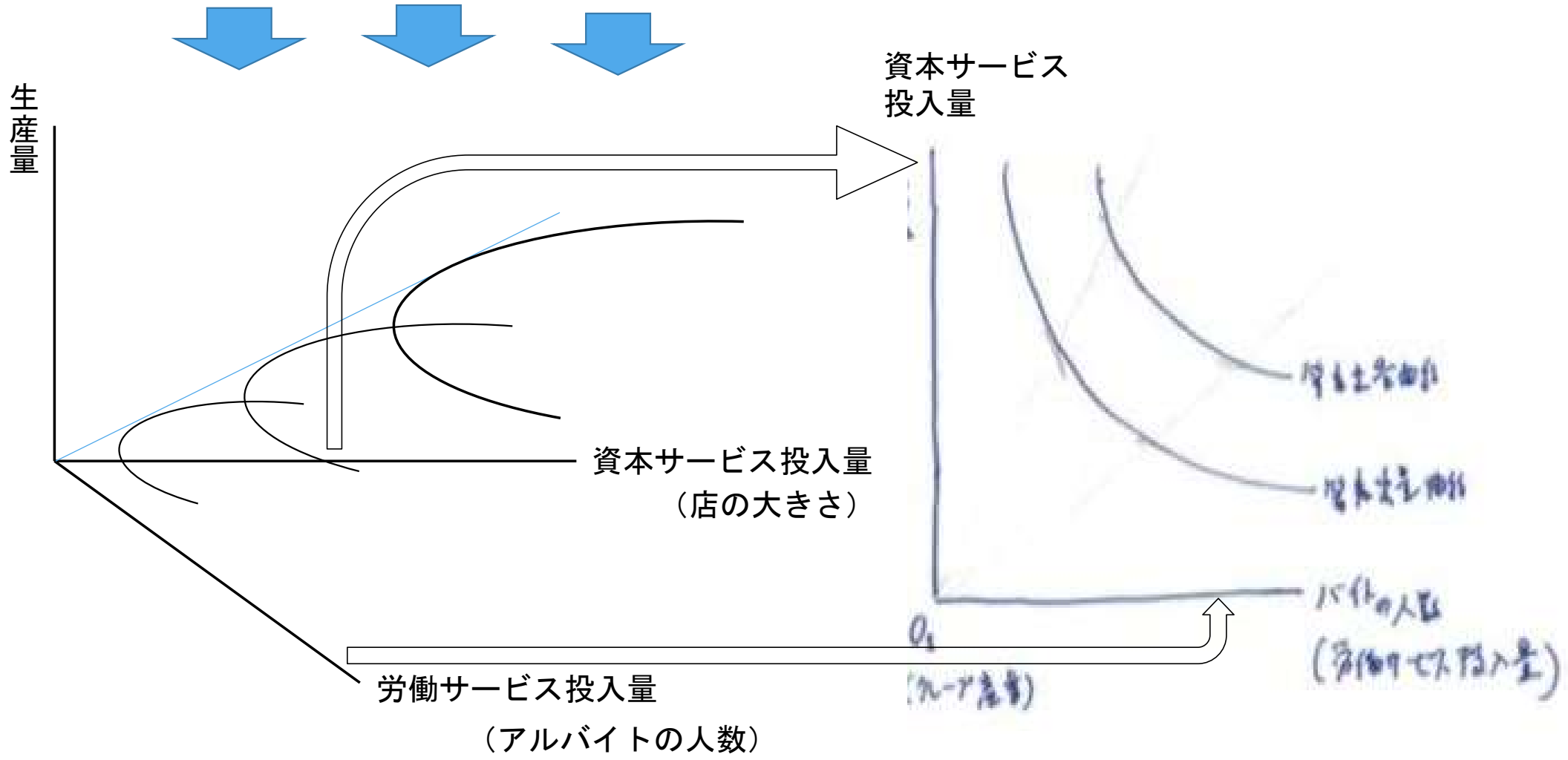
生産関数は、とりあえず図示されることが一般的

（つまり、「図に書ける」ということ）



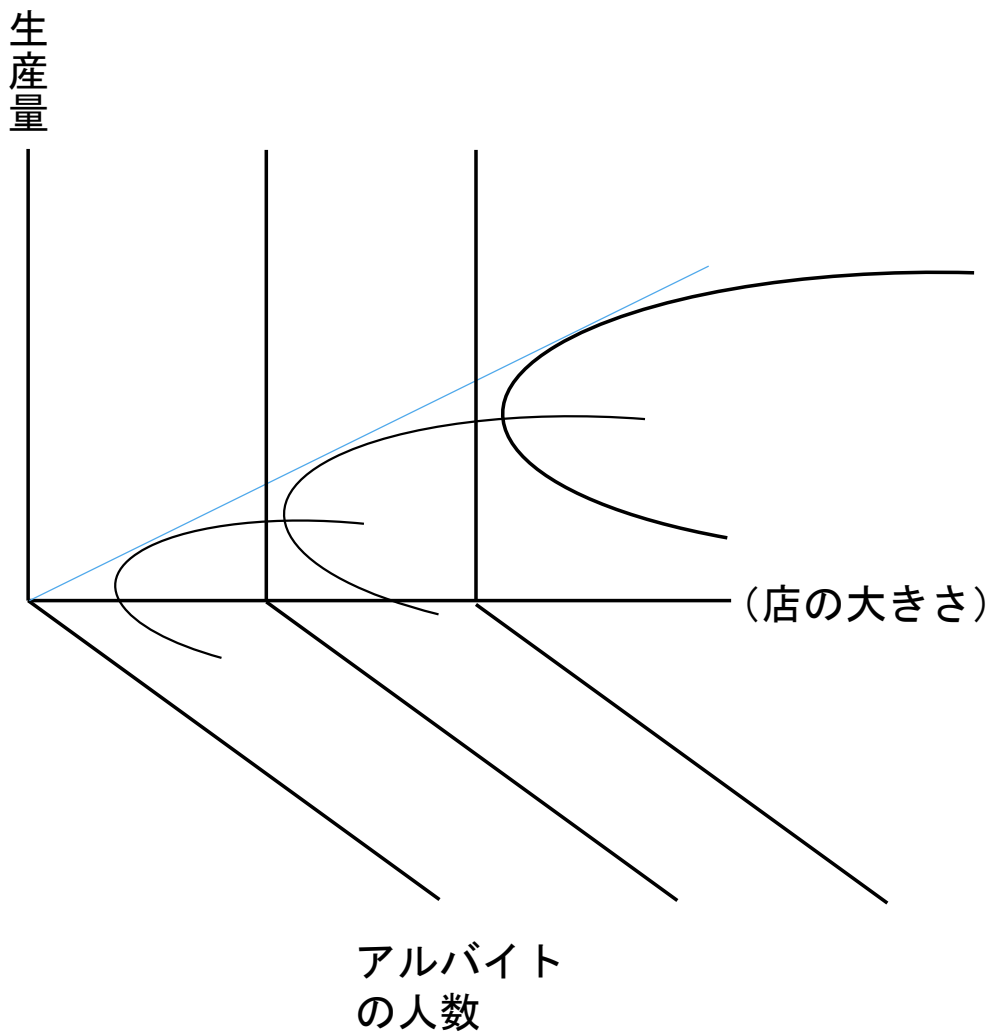
# 生産関数

水平に切った切り口を真上から覗き込んだときの形（等高線の形）

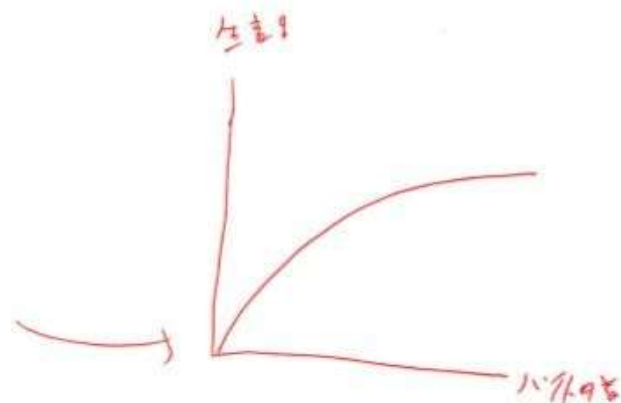
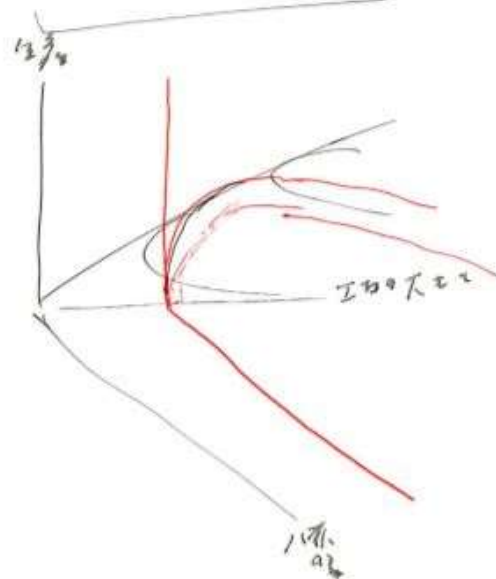


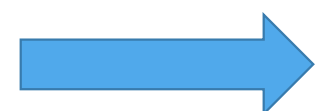
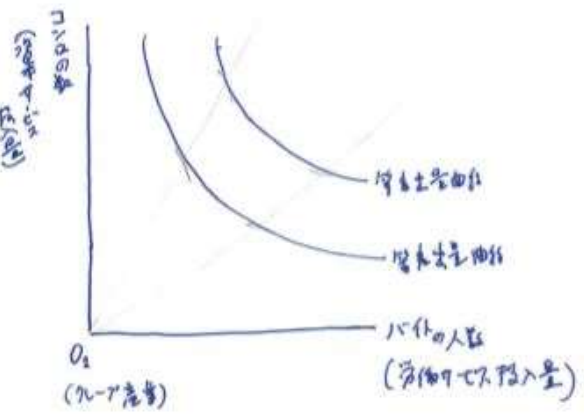
# 生産関数

タテに切った切り口を横から見た時の形

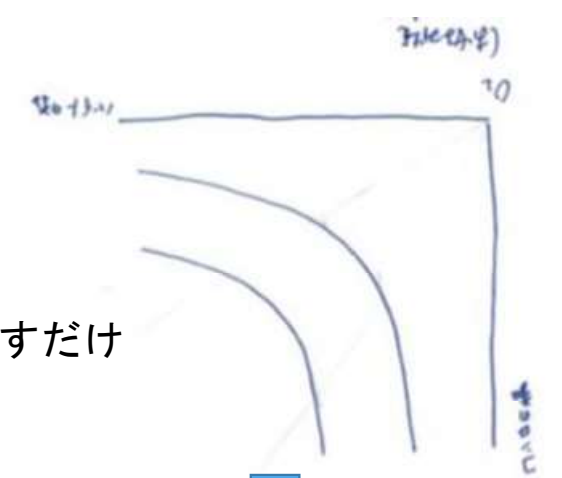


② タテに切った切り口

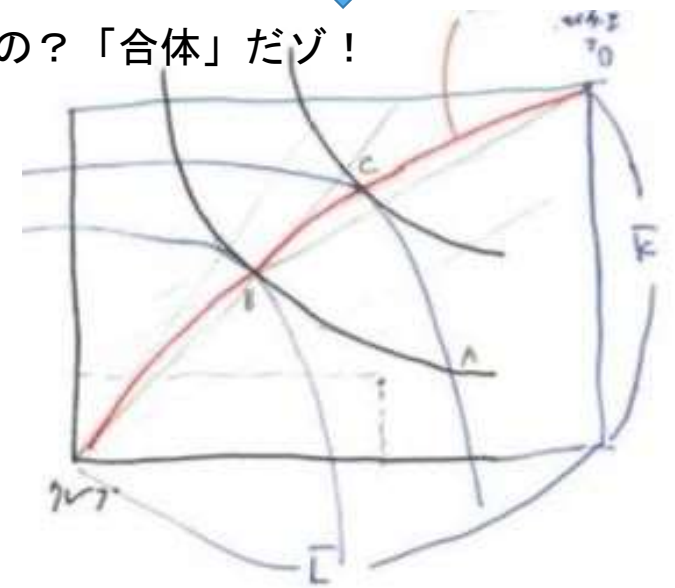




単にひっくり返すだけだゾ

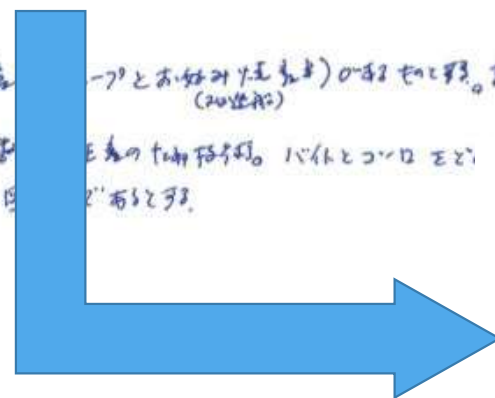


まさかの？「合体」だゾ！



今、2つの... (20世紀) ... (労働力投入量) ...

... (労働力投入量) ... (労働力投入量) ...



単にコピペするだけだゾ

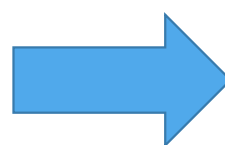
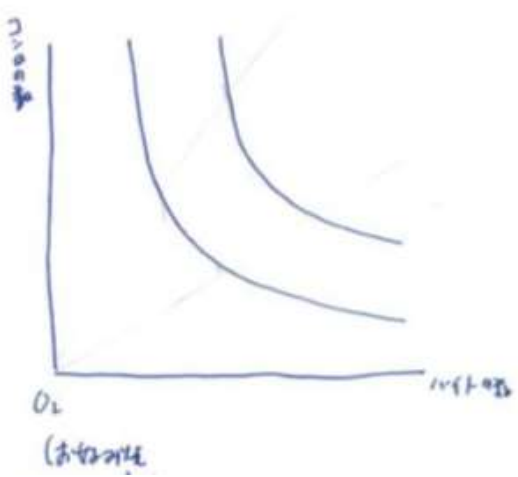
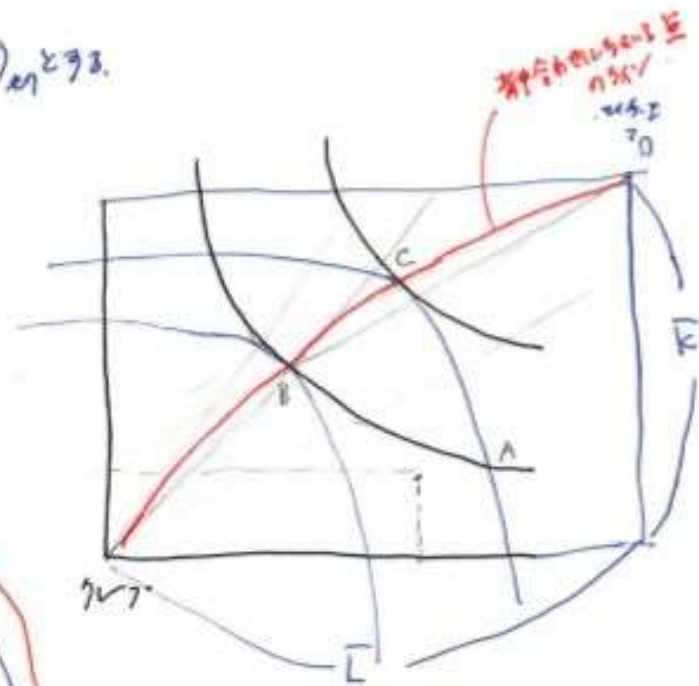
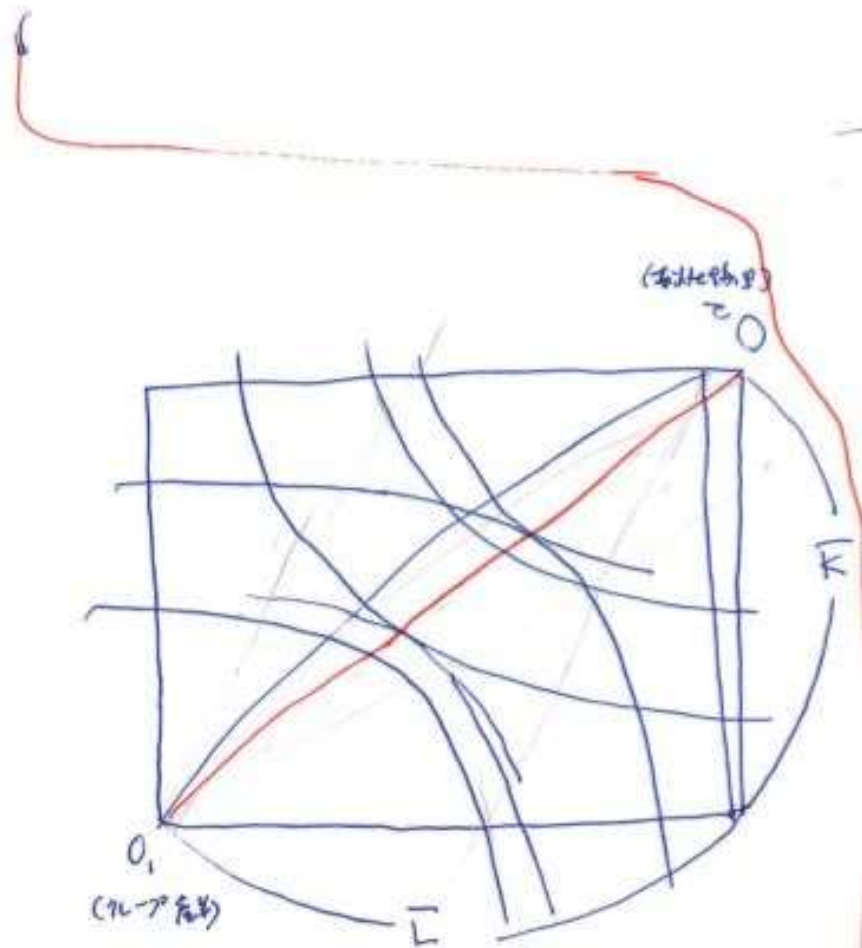


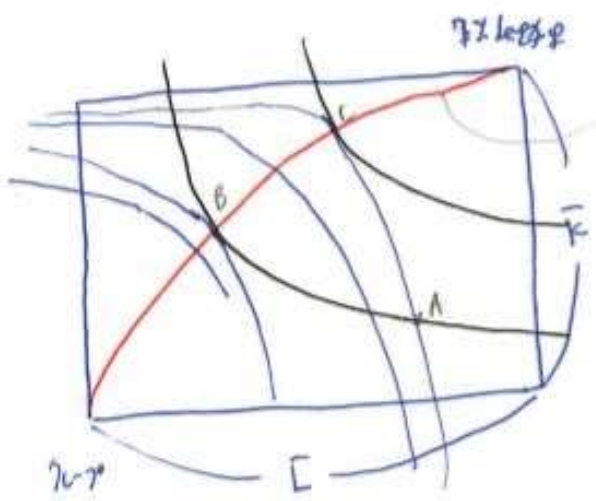
図1, 2の図は  $\bar{K}$  の場合

労働力以外の  
準備金 (=  $\bar{K}$ ) は  $\bar{L}$  (労働力) である。

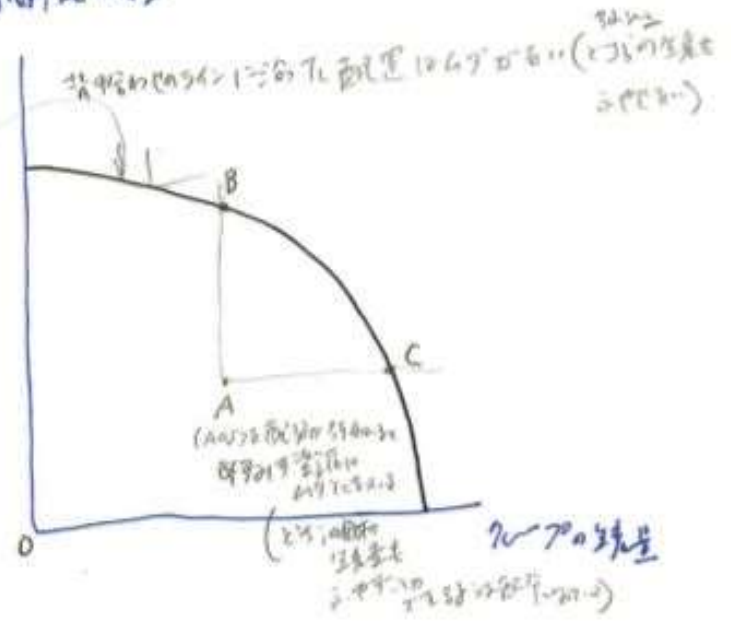


↑  
この図は、労働力と資本の  
関係を示すものである。  
労働力以外の準備金  
は、労働力と資本の  
関係を示すものである。  
労働力以外の準備金  
は、労働力と資本の  
関係を示すものである。

生産可能性曲線 (生産可能性の限界を意味する Production possibility frontier)



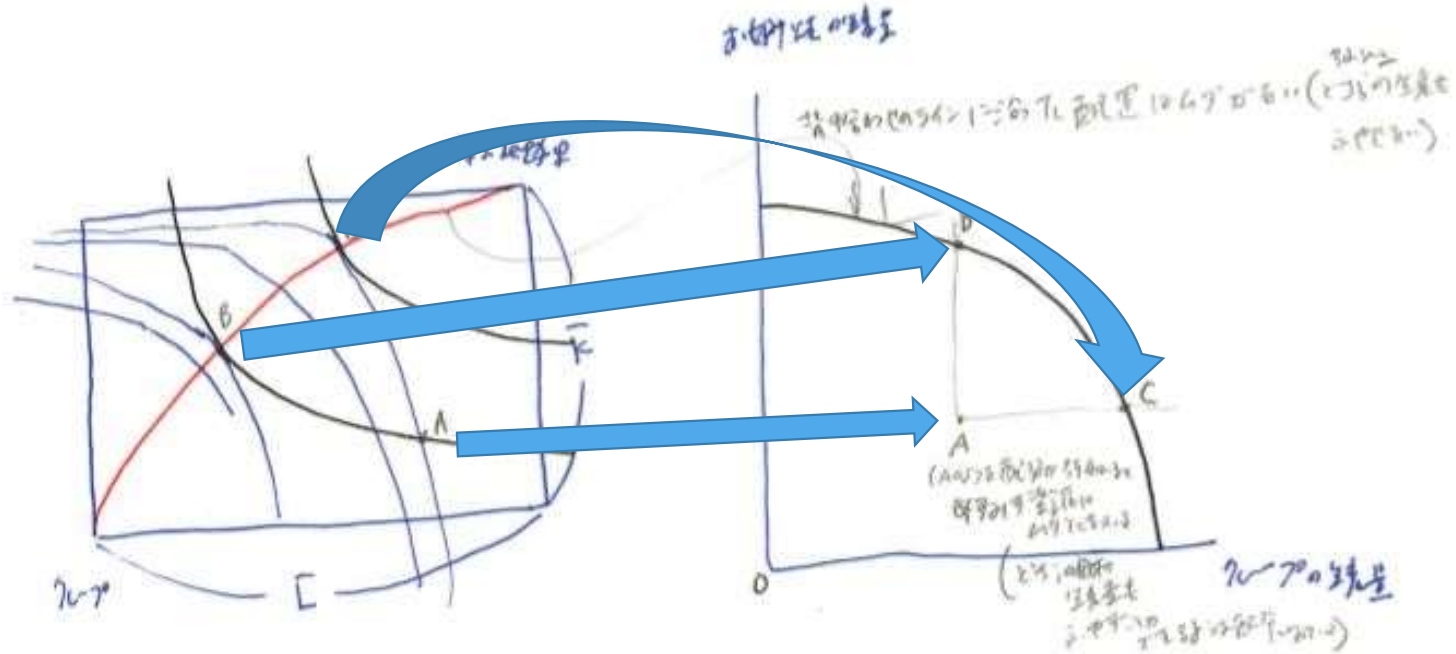
お好みのおかず



[ お好みのおかずと  
お好みのおかずの配置 ] お好みのおかずの配置は (E, F) のお好みのおかずの配置、お好みのおかずの配置  
お好みのおかずの配置は (E, F) のお好みのおかずの配置、お好みのおかずの配置  
お好みのおかずの配置は (E, F) のお好みのおかずの配置、お好みのおかずの配置

このスライドだけ、最後、時間切れで示しませんでした (ちょっと反省)

生産可能性曲線 (生産可能性フロンティア) 英語で Production possibility frontier



[ たいはく外と  
たいはく内との関係 ] 生産可能な商品の量は (このように) 自由に動かすことができる。この性質を「可動性」といいます。この性質があるため、生産可能な商品の組み合わせの限界を示すことができる。